

## ◎「ウクライナ支援」 News Letter

2022年4月11日

ミッション・宣教の声

黒田 禎一郎

愛する  
主にある皆様へ

主にあって尊い捧げものとお祈りにお礼を申し上げます。  
現在ウクライナに、世界中から祈りと支援の手が届いています。現地は出口が見えない戦地で、多数の人々が生きるか死ぬかの瀬戸際に立っています。私たちは皆様からの「支援献金」を、ドイツの宣教団体「フリーデنز・ボーテ」(FB)を通し、現地のキリスト教会とクリスチャンにお届けしました。この宣教団体はかつて来日くださった故ゲルハルト・ハム師、故ヤコブ・エソウ師、故ダビデ・クラッセン師などの世界巡回伝道師が所属していた信頼できる団体です。FBは主にロシアからの帰還ドイツ人による団体で、自らが非常に厳しい迫害を受けた方々です。ここに、ウクライナへの支援活動の一部をお知らせします。

・ウクライナ西部のリビウ(Lwiw)の都市に約5千平方メートルの大ホール(倉庫)はあり、ドイツから届いた救援物資が続々と到着しています。そこで現地クリスチャンと外国からのボランティアにより、多量の救援物資の仕分け作業が行われています。人道上支援でポーランド国境税関はかなり簡素化し、ほぼフリー通過できるとのことです。現地では激しい戦火の中で、教会責任者と執事の方々は懸命に分配作業に励んでいます。関係者は、「この激戦下で多くの苦難があります。それでもお会いしたこともない多くの方々のご支援くださり、またお祈りしてくださっていることに深く感謝しています。これは神の奇跡です。」と口を揃えて語っています。今後、更に不足となる食料品は必須です。お祈りに覚えてください。



リビウの倉庫で仕分け作業中

・米国の災害支援団体「サマリタンパス」は、最も早く現地入りし救援物資を届けた団体でしょう。彼らは専用機で物資を運び、移動式(モバイル)病院(ベット数30床)を現地に持ち込み、懸命な医療支援活動をつづけています。1日平均、100人以上の人々に医療支援を行っています。3月下旬に、ペンス元米国大統領(敬虔なクリスチャン)も現地訪問し、支援活動に協力しました。

・ドイツのキリスト教医療支援団体「フメデイア」は、ウクライナのポーランドとルーマニア国境に臨時病院を設置し、医療スタッフを送り避難民の救援に従事しています。ペンテコステ派の支援団体(AVC)は、主にポーランド、ルーマニア、モルドバに逃れてきた難民たちに愛の手を差し伸べています。行き先がない難民の相談相手となり、西側の受け入れ教会に難民を紹介しています。多くの教会とクリスチャンが助けの手

を差し伸べています。

・正確ではありませんが、他にもドイツから少なくとも100以上の宣教団体が愛の手を差し伸べています。他に教会あるいは教団単位で支援活動もしていますので、かなりのクリスチャンたちが支援中です。ウクライナと国境を有するポーランドやモルドバ初め、ヨーロッパ諸国（英国、フランス、スイス、オーストリア、オランダ、北欧）のキリスト教会とクリスチャンは献身的にサポートしています。



救援物資が運ぶ大型トレーナー

### ・キーウに留まる宣教師夫妻



ヤッフイン師&マリー師夫妻

キーウの短期聖書学校責任者夫妻は、インド出身のヤッフイン師とドイツ出身のマリー師です。彼らはキーウの近郊に住み、この戦火でもウクライナを離れず留まる決心をしました。この聖書学校は(YWAM)の名称で、福音が閉ざされている旧ソ連（ロシアや中央アジア）からの若い学生が多く、彼らは短期的に集中して聖書の学びを受け、それぞれが母国の町々に戻りキリストの福音を宣べ伝えています。

しかし、このような戦火におかれた現在、聖書学校の働きは停止しています。彼らと(YWAM)は現在、主にウクライナ兵士のサポート、老人、病人のケア、そして住民の支援活動を行っています。外国人として現地に留まる決意した彼らは、主からの強い使命感を与えられています。どうぞ、(YWAM)とヤッフイン師&マリー師夫妻の働きをお祈り覚えてください。

※この News Letter は不定期に発行しますが、メールをお持ちの方で差し支えない方はお知らせください。皆様の祈りとご支援に感謝します。